

「区長とかたろう」大好評実施中!!



参加者の
満足度90%以上!
企画支持率100%!!



ぜひ一度
ご利用ください!

これまでの相談内容の例

- 地域の美化活動を行っているが、もっと区役所と連携したい。
- 子育てや高齢者に関する課題の解決方法を提案したい。
- 区の業務対応への苦情や改善要望など。

榊です!みなさまのご意見をうかがいたいのので、気軽にご参加ください!



2児の父 → ← 民間出身
九州男児 → ← 49歳

「区長とかたろう」は、区民の皆さまをはじめ、たくさんの方に区政運営や区役所業務へのご意見ご質問等を、区長に直接お伝えいただける場として、平成28年6月から開始した企画です。(事前予約制)

詳細はホームページか下記担当へお問い合わせください。ご連絡お待ちしております!

区役所開催型	
申込単位	個人単位(同伴者は3名まで)
実施日時	毎週金曜日 18:00~18:30 毎月第4日曜日 10:00~11:00
相談時間	最大10分
開催場所	淀川区役所1階フロア内

地域出張型	
申込単位	5人以上のグループ単位 (近所のご友人などでもOK)
実施日時	ご希望の日時 (公務等で日時の変更をお願いする場合もございます。)
相談時間	最大60分
開催場所	グループの指定した淀川区内の施設

問合せ 政策企画課(広聴) 5階51番 ☎6308-9683 区長とかたろう 検索

スピード チャレンジ



それいけ、まさふみ!

淀川区長 榊 正文

困難な環境にある子どもを、地域社会で育む仕組みを。

今月号の表紙を見て驚いた方もいらっしゃるでしょう。大阪市では、いわゆる社会的養護を必要とする子ども達が約1,200人いますが、里親に預けることのできる率は低迷しています。ファミリーホーム(FH)を含む養護の形態を日本では「里親委託」とカウントしていますが、子どもの心の健全な育成を考えたとき、1対複数より、特定の大人と1対1の関係を結んでいく里親のほうが欧米主要国では主流であり、この拡大に尽力しなければなりません。(もちろんFHも)

私は、4年前の民間人時代は全く知識がありませんでしたが、淀川区で博愛社さんが児童養護施設を運営しておられ、大阪市里親会会長の梅原さんが区民であら

れることから、深く関心をもってこの課題に向き合ってきました。

里親と言っても「養子」を前提にするものから、「養子」を前提にせず日常の「養育」をするもの、月1~2回週末や休暇中限定で子どもに家族的雰囲気を感じてもらおう「週末里親」まで、本当に様々。「週末里親」は他に比べ簡素な手続きでなれるものです。

子どもが現在の状況に至る経緯は、それはそれは様々ですが、困難な環境に負けず立派に成長してもらうことを心から願ってやみません。そのような子どもを、なんとか地域社会と区民一人ひとりの皆様のお力で導いてくださいますよう、何卒お願い申し上げます。

